

# 区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

## 巻 頭 言

## 知 命

## 金 田 高 次

(かねだクリニック 院長)

「五十にして天命を知る」とは論語に出てくる有名な言葉です。孔子は、50歳になって天が自分に与えてくれた使命を自覚したと言いました。孔子は紀元前の生まれで、没年齢は80歳だったといわれております。

今年の国会質問で、ある民主党議員が安倍総理大臣に対してサザエさんのお父さんである波平さんの年齢を少子化対策の話題として尋ねました。総理大臣は57歳と答えたのですが、実際の波平さんの設定年齢は54歳でした。サザエさんが始まった1950年の男性の平均寿命は58歳だったので、頭のとっぺんに1本の毛とサイドに少し毛が残っている波平さんの風貌は、1950年代50歳台のお父さん象徴しているものと思われます。しかし、男性の平均寿命が約80歳となった現代には、波平さんのような風貌の54歳はみられません。それでは、今の50歳の人物像はどうなっているのでしょうか。

国税庁が発表する民間給与実態統計調査では、50から55歳頃が給与のピークで、男性649万円、女性283万円、平均494万円（全世代平均412万円）でした。スマートフォンの保有率は、20歳が約60%であったのに対して、50歳は約30%でした。文部科学省が発表する体力運動能力調査（握力、上体起こ

し、長座位体前屈、反復横跳、20mシャトルラン、立ち幅跳びを点数化した新体力テストの合計点）では、20歳が41点であったのに対して50歳は32点で、握力は30歳、その他は15から20歳がピークでした。厚生労働省が発表するストレス調査では職業、性別にかかわらず30から49歳にピークがあり50歳以降は低下していました。テルモ体温研究所の調査報告では、乳児の $36.70 \pm 0.30^{\circ}\text{C}$ をピークに徐々に体温は下がって、10歳ごろに一定の $36.89 \pm 0.34^{\circ}\text{C}$ となり、50歳頃から再び低下し始めて65歳頃には $36.66 \pm 0.42^{\circ}\text{C}$ となるとのことでした。プロ野球選手の最年長出場は阪急ブレーブスの浜崎真二（48歳10か月）で、2位が中日ドラゴンズの山本昌（47歳現在更新中）ですが、50歳を超えた現役選手は今のところまだ出ておりません。どうやら50歳は、社会的評価が最も高いものの、若々しくなった外見にも関わらず運動機能や生理機能は確実に低下している年齢のようです。

さらに50歳を調査していると次のような報告を見つけました。

イギリスのニュースサイト Daily Mailに掲載された「50歳の女性の体や精神に起こるうれしい変化」という報告です。

- 1 アレルギーの減少 IgEの生成量が低下する
- 2 片頭痛の減少 エストロゲンが減少する
- 3 汗をかかなくなる 汗腺が減少する
- 4 より負けず嫌いになる 社会的優位性への望みが高まる
- 5 セックスが良くなる 行動に対する抑制が低下する
- 6 風邪をひきにくくなる 多くのウイルスに対する免疫が獲得される

- 7 より鋭い感覚になる 前頭葉前部の機能の向上で合理的かつ慎重な判断ができる
- 8 スタミナが向上する トレーニング次第でマラソンなどはうまくなりやすい
- 9 歯がしみなくなる 象牙質が厚くなる
- 10 よりハッピーになる スタンフォード大学の研究で、感情を処理する扁桃の変化により「人は年を経て、より満足し、精神的に安定する」と感じているとのことである。

この内容から、運動機能や生理機能の低下も考えようによっては必ずしも悪くはないというメッセージが伝わってきます。何事もポジティブにとらえれば、「良いことを見つけるのがうまくなり、小さなことにこだわらなくなる」ということだと思います。

1963年に生まれた私は、今年50歳になります。

「五十にして天命を知る」

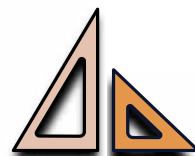
当然、私には天命なんてまったくわかりません。でも現実を受け入れて何事もポジティブにとらえることができれば、

「五十にして惑わず」

10年遅れでなんとか不惑に到達できるような気がします。



## 理事会報告



### ◎平成 25 年度 8 月定例理事会

日 時 平成 25 年 8 月 24 日〈土〉

午後 6 時 30 分～ 7 時 30 分

場 所 リーガロイヤルホテル 28 階

サファイアルーム

### 協議事項

1. 乳幼児健康診査(9月5日〈木〉)への医師派遣(1名)について <佐久間会長> 標記健診の小児科医の派遣依頼があった。日程等は次のとおり。  
時間 午後1時40分～  
場所 浪速区役所3階

協議の結果、川田理事に決定。

2. 救急医療情報交換会(9月4日〈水〉)の出席者について <徳田理事> 標記交換会へは、理事より出席者を募ることとなった(総務会8月9日決定)。出席予定者は次のとおり。  
澤井・菱川 各副会長、久保田・奥山 各理事、竹中監事。

3. 敬老の日(9月16日〈月・祝〉)について <岡藤理事> 敬老会員への贈呈品を協議願いたい。今年度の敬老会員は22名である。

協議の結果、例年どおり図書カードを贈ることに決定。

4. 今年度レクリエーションの開催について <岡藤理事> 今年度の開催について協議願いたい。

協議の結果、60周年記念式典(平成 26

年1月18日(土))を行うので、レクリエーションは開催しないことに決定。

5. 平成25年度下半期の中央急病診療所出務医師の割当について <奥山理事>  
標記診療所への出務医師割当について資料のとおり案をまとめた。協議願いたい。

日程				出務医師	
平成25年	11月5日	火	深夜 22:00～30:00	前田泰久	
	12月1日	日	準夜 17:00～22:00	西平香代	城村尚登
平成26年	1月6日	月	深夜 22:00～30:00	佐伯裕司	
	2月8日	土	深夜 22:00～30:00	笹岡英明	
	3月1日	土	深夜 22:00～30:00	小池洋志	
	3月21日	金	準夜 17:00～22:00	福永真也	松崎智彦

協議の結果、了承。

## 6. その他

- (1) ブルーカードシステムの取材について <久保田理事>

NHKより、ブルーカードシステムについて取材の申込があった。

救急搬送された患者、連携病院にも取材を行う予定とのことである。

取材の可否について、協議願いたい。

協議の結果、了承。

- (2) 60周年記念誌の装丁や文字の大きさについて <澤井副会長>  
標記について協議願いたい。

協議の結果、次のとおりに決定。

- ① 60周年記念誌の装丁については、50周年記念誌と同様の装丁とする。  
② 1ページの文字の大きさについては、再度検討する。

なお、印刷業者については、40・50周年記念誌の作成した(株)サビに依頼することを確認した。

(60周年記念行事検討委員会 <25.6.21>決定)

## 報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について (8月23日(金)) <佐久間会長>  
次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷連絡事項

(1) 医療の消費税問題の件

(2) 9月度行事・会合日程の件

▷協議

▷閉会 (詳細 略)

2. 植松治雄先生の旭日大綬章受章を祝う会について

(8月18日(日)) <佐久間会長>

次第は次のとおり。

▷祝賀会

(1) 開会の辞

(2) 発起人代表挨拶

(3) ご来賓祝辞

(4) ご来賓紹介

(5) 記念品贈呈

(6) 花束贈呈

(7) 謝辞

▷祝宴

(1) 開宴の辞

(2) 乾杯

(3) 祝電披露

(4) 閉宴の辞

(詳細 略)

3. 60周年記念式典検討・実行・編集委員会について

(8月9日(金)) <徳田理事>

次第は次のとおり。

▷記念誌について

▷60周年記念式典の内容等について

(1) 8月号区医だよりに記載する60周年記念式典の開催と記念誌発刊の告知について

(2) 60周年記念式典の案内文について

(3) 記念誌への投稿のお願い文について

(4) 大阪府医師会長の出席について

(5) その他

(詳細 略)

4. 第1回トータル医療ネットワーク協議会について

(8月10日〈土〉) <久保田理事>

次第は次のとおり。

- ▷各会長挨拶
- ▷各医師会の取り組み
- ▷西・中央・東ブロックの診診メーリングリスト構想について
- ▷西・東ブロックの病病メーリングリスト構想について
- ▷西・中央・東ブロックの訪問看護ステーション、ケアプランセンターのメーリングリスト作成について
- ▷西・中央・東ブロックでの地域連携室について
- ▷年間計画
- ▷終わりに

(詳細 略)

5. 学術講演会について

(7月20日〈土〉) <奥山理事>

講演内容は次のとおり。

演題 電気の流れて理解する心電図その3

講師 国立循環器病研究センター

循環動態制御部

室長 高木 洋 先生

出席者数 15名

共催 大塚製薬株式会社

情報提供 プレタールにおける最新の話題

(詳細 略)

6. その他

なし。

次回会議

平成25年9月27日〈金〉 午後8時～

## 10月度学術講演会のお知らせ

10月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：平成25年10月19日〈土〉

午後2時30分～4時30分

場所：一般社団法人浪速区医師会 会議室

演題：「気管支喘息と

慢性閉塞性肺疾患(COPD)」

講師：北野病院 呼吸器センター

副部長 丸毛 聡 先生

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします。



## 森本靖彦先生「瑞寶小綬章」受章祝賀会

庶務担当理事 徳田好勇

愛染橋病院名誉院長「森本靖彦先生」の瑞寶小綬章受章をお祝いするため、平成 25 年 9 月 7 日（土曜日）午後 1 時よりスイスホテル南海「浪華の間」において祝賀会が開催されました。石井記念愛染園 常務理事 橋本克矢氏・大阪大学第三内科同窓会 佐藤文三先生・

大阪府病院協会 川合弘毅先生・浪速区医師会 佐久間靖博先生が発起人となり、155 名の方々がお祝いに集まりました。来賓の方々から森本先生のエピソードが紹介された後、祝宴では森本先生を中心とする歓談の輪が広がりました。





【写真提供：祝賀会事務局】



## ローン案内

大阪府医師信用組合「いししん」は、大阪府医師会員の専門金融機関として、ご融資を通じて医療・介護経営と暮らしをサポートいたします。

### 住宅に関する資金に 有担保型ローン

- 自宅の購入、新築、リフォーム
- 建築用地先行取得
- 他行住宅ローンのお借換え など



▶ 好評につき、平成26年3月末までキャンペーン金利延長

限度額 期間3・5年以内  
**2 億円 年 0.975 %**  
 (変動金利)

●当初10年間固定金利型商品のお取扱いもございます

### 自動車の購入資金に 無担保型ローン

- 自家用車
- 往診車
- 患者用送迎車



▶ ディーラーローンよりお得

限度額 期間7年以内  
**1,000 万円 年 1.80 %**  
 (固定金利)

### お子様の教育に関する資金に ▶ 私立医大の入学金・授業料にも対応

#### 有担保型ローン

限度額 期間20年以内  
**5,000 万円 年 1.775 %**  
 (変動金利)

#### 無担保型ローン

※大学入学・在学時の資金に限ります

限度額 期間10年以内  
**1,000 万円 年 2.475 %**  
 (変動金利)

※表示金利は平成25年9月にお借入れいただく場合の適用金利です。お申込み時点ではなく、実際にお借入れいただく日の金利が適用されます。

上記以外のローン商品も取り揃えております  
 詳しくは本店融資課まで（担当者による訪問も可能です）

TEL 06-6762-7381  
<http://www.odcu.co.jp/>

大阪府医師信用組合



## 浪速区医師会 活動の伝言板

囲碁部 毎月第1・3・5(土)  
(川田信) pm 5:00～

平成 25 年 10 月の各業務の出務予定は次の  
とおりです。ご協力のほどよろしくお願いいた  
します。

### 三 歳 児 健 診

●保健福祉センター

10 月 24 日(木)午後 1 時 40 分～ 3 時 30 分

小児科 本田 秀明

眼 科 山尾 信吾

耳鼻科 中村 泰久

### B C G 接 種

●保健福祉センター

10 月 17 日(木) 午後 2 時～ 3 時 30 分

池田 良彦・北村 栄作

### 急病診療所出務

●今里休日急病診療所

10 月 13 日(日) 10:00～17:00

篠原 嘉伸・有田 繁広

### 産業医健康相談窓口

●浪速区医師会

10 月 1 日(火) 14:00～16:00

菊井 祥二

10 月 18 日(金) 14:00～16:00

池田 良彦

### 浪速区医師会クラブ活動案内

各クラブ活動は下記日程で行っております。  
多数のみなさま方の参加をお待ちしており  
ます。(ときに時間変更される場合もあり  
ますので、各部代表まで連絡をお願いいた  
します。)





## あとがき

Y.M.

この号の出る9月下旬頃にはもう秋の気配が感じられるだろうか。暦の上では8月の下旬に立秋を迎え、それ以後はもう残暑ということになっているのに、今年の夏は今までに経験したことのない異常気象であった。7月初めの梅雨明けから猛暑が続き、一度やや気温は下がったが、立秋以後に再び35℃以上の猛暑日が連続20日以上も続き、41℃という記録的な気温に達した地区もある。おまけに大阪ではこの夏ほとんど雨が降っていない。日頃あまり手入れも水やりもしていなかった我が家の庭の木がいつの間にか茶色に変色してしまった。全国各地で熱中症で搬送された人は数万人に達し、亡くなった人も千人を超えたようだ。

この猛暑は強力な太平洋高気圧が居座り続けたからだそうだが、いわゆる地球温暖化と無関係ではないだろう。北極圏の氷山が徐々に溶け出して、いずれ単なる海洋になってしまう可能性もあるそうだ。あと百年もすれば、地球はどんな気候になっているのだろうか、想像するのも恐ろしい。

さて、今月号の巻頭言士は50歳を迎えた自身の心境と、人生における50歳という節目について、「五十にして天命を知る」という論語の有名な言葉を引用して述べておられる。しかし、50歳以後も数十年は生きられる現在と違って、孔子の時代の平均寿命はせいぜい50年位であっただろうから、50歳という天寿を全うしたからには、もういつ死んでもよいという覚悟で、あとの人生を心して過ごせと言う意味であったのかも知れない。

あとがき子はちょうど50歳の時が人生の折り返し点であった。すなわちそれまでの25年に及ぶ大学病院勤務を終えて、初めて愛染橋病院に赴任した年だからである。いわば初めて閉鎖社会から一般社会へ放り出され

た画期的な年であり、まさに自分の天命を知った年でもあった。そして今年とうとう喜寿を迎えたので、50歳の1.5倍を超えたわけだが、この四半世紀は比較的充実した人生を送れたので、ほぼ天命を果たせたのではないかと自分では納得している。

巻頭言士もやはり人生の大きな節目の一つとして、この50歳を有意義に過ごし、ぜひ自分の天命を知って今後の人生設計を描いてほしいと願っている。

私の恩師である山村雄一先生は、よく「人事を尽くして天命を待つ」のでなく、「天命を待って人事を尽くす」のが正しいのだと主張しておられた。一生懸命に努力すれば必ず良い天命がくると期待していると、裏切られて失望することもあるので、天命はどう下るか分からないのだから、運を天に任せて、とにかく精一杯の努力をせよという意味だったと思う。

50歳で知った天命が本当に自分のものになるかどうかは、その後の生き方によって大いに左右される。50歳が大切なのではなく、それからの人生こそが大切なのだと思う。



目次	ページ
巻頭言	
知命 金田 高次	1
理事会報告（8月開催）	2
10月学術講演会のお知らせ	4
森本先生「瑞寶小綬章」受章祝賀会	5
浪速区医師会活動の伝言板	7
あとがき	8

### 【区医だより】

発行者 佐久間靖博  
編集者 中村泰久 橋村直隆  
印刷所 株式会社 サジ